

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600109
事業所名	グループホーム向ヶ丘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	当事業所は体操やエステ教室など多種多様のボランティアの受け入れや、併設の2階には「寄り合い茶屋ひらばり」があり地域の人達の寛ぐ場所となっており、地域に根づいている。ほほえみグループとして幼児から高齢者まで様々な交流を行い、先駆的な取り組みを行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み（外部評価項目：3）	評価
	併設の同法人の小規模多機能と合同で年6回開催している。事業所の活動報告から出席者より意見を貰ったり、認知症に関する事で相談を受け助言をしている。また、会議の中でほほえみグループ全体に関する意見交換も活発に行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	介護保険の認定更新手続きに区役所担当課に出向いた際に、グループホームの現状報告をしたり、介護保険制度で疑問に思う事を相談して助言を貰っている。いきいき支援センターと協力し認知症の家族の会で職員が認知症の対応の仕方の寸劇を披露するなど協力関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	日頃利用者の1番かがやいている場面をキャッチして写真を取りそれを家族に「ほほえみ便り」として毎月送付している。家族会も年3回行い家族の参加は多い。また、ブログを毎日更新しており、日常の様子がよくわかるようになっている。家族より体操の時間を入れてほしいと要望があり、体操のボランティアの受け入れをして定期的に体操を行うなど、家族からの要望は真摯に受け止めて改善する様に努めている。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。